解　説

第22章 災害・事故

火災

発生件数、死傷者数とも減少



火災件数、死傷者数

大阪府危機管理室によると、令和２年の火災件数は1,903件で、前年に比べ99件(4.9％)減少しました。おおよそ１日に５件、４時間半に１件発生したことになります。

死傷者数は463人で、前年に比べ88人(16.0％)減少しました。

発火源別では、たばこやマッチ等それ自身が発火する「火種」によるものが688件(全件数の36.2％)と最も多く、次いで「電気による発熱体」502件(同26.4％)、「ガス・油類を燃料とする道具装置」348件(同18.3％)です。

自然災害による被害

[第22章2、5表より]

人的被害はなし

消防白書等によると、令和２年の自然災害による被害は、住家被害が８棟(一部破損７棟、床下浸水１棟)です。



自然災害による人的被害、住家被害

[第22章13表、総務省消防庁「消防白書」、大阪府「大阪府災害年報」より]

労働災害

死傷者数は減少

産業別労働災害による死傷者数



労働者死傷病報告によると、令和２年の労働災害による死傷者数(死亡・休業４日以上のもの)は8,726人で、前年に比べ80人(0.9％)減少しました。

産業別では、「製造業」が1,591人(全産業に占める割合18.2％)と最も多く、次いで「商業」1,380人(同15.8％)、「陸上貨物運送業」1,364人(同15.6％)です。

[第22章3表より]

交通事故

発生件数、死者数とも減少

大阪府警察本部によると、令和２年の交通事故発生件数は2万5,543件で、前年に比べ5,371件(17.4％)減少と、16年連続で減少しました。

死者数は124人で、前年に比べ6人(4.6％)減少と、平成２年以降減少傾向にあります。



交通事故発生件数、死者数

[第22章9表より]

自転車関連の事故件数も減少傾向にあり、令和２年は8,774件で、前年に比べ1,544件(15.0％)減少しました。そのうち対歩行者事故件数は337件で、前年に比べ42件(11.1％)減少しましたが、10年前(平成22年)の1.4倍となっています。

※自転車関連の事故件数：「自転車が第一当事者の場合の件数」＋「自転車が第二当事者の場合の件数」－「自転車同士の件数」



[第22章9表より]

自転車事故件数、うち対歩行者事故件数